# 平成31年度大学院法学研究科博士課程後期課程入学試験・進学試験　出題の意図

【外国語】

| | | | |
|---|---|---|---|
| 一般入試 | 英語 | 問題 | 筆答試験では大学外に著作権がある外国語文献のみが使われますので、著作権法の規定により本サイトでは表示できません。ただし教務係にて閲覧することは可能です。 |
| | | 出題の意図 | 第1問　ごく平易で，具体例も多い文章を（これはテキストブックからの引用である）を正確に読み取ることができるかをみようとする出題である。 |
| | | | 第2問　昨今のヨーロッパ諸国のアジア地域に対する安全保障領域での関与・関心について述べられている本文章は、平易な英文を用いているため、専攻分野を問わず、法学・政治学の研究を進めていく上で必要最小限の英語読解力、さらには日本語翻訳分の作成能力を試すことが可能となる。 |
| | フランス語 | 問題 | 筆答試験では大学外に著作権がある外国語文献のみが使われますので、著作権法の規定により本サイトでは表示できません。ただし教務係にて閲覧することは可能です。 |
| | | 出題の意図 | フランス語の一般向けのウェブサイトから、難民の定義に関する文章、および、外国籍居住者の選挙権に関する文章をそれぞれ抜粋して、出題した。法学・政治学のいずれの分野を研究するにしても必要とされる基本的なフランス語読解力が身に付いているかどうかを問う出題である。 |
| 進学試験 | 英語 | 問題 | 筆答試験では大学外に著作権がある外国語文献のみが使われますので、著作権法の規定により本サイトでは表示できません。ただし教務係にて閲覧することは可能です。 |
| | | 出題の意図 | 第1問　ごく平易で，具体例も多い文章を（これはテキストブックからの引用である）を正確に読み取ることができるかをみようとする出題である。 |
| | | | 第2問　昨今のヨーロッパ諸国のアジア地域に対する安全保障領域での関与・関心について述べられている本文章は、平易な英文を用いているため、専攻分野を問わず、法学・政治学の研究を進めていく上で必要最小限の英語読解力、さらには日本語翻訳分の作成能力を試すことが可能となる。 |